

2011年度（平成23年度）事業計画

（2011年4月1日～2012年3月31日）

2011年3月11日に発生した東日本大震災という未曾有の災害は日本に大きな傷跡を残しております。日本がいかに復興するか、は日本人だけでなく世界の人々の注視するところです。

アジア調査会は講演会、研究会活動、出版活動を通し、「グローバル世界の中、21世紀の日本はどうあるべきか」について情報発信いたしますが、日本の復興のあり方、それに対する世界の評価なども視野に入れながら活動を進めたいと考えます。

昨年度は月刊情報誌「アジア時報」の内容充実に力を入れました。今年度も新聞メディアでは取り上げにくい政治・経済・国際社会の長期トレンドをとらえた分析・提言を多く行うなど、毎日新聞を補完する役割も果たし、他誌に真似のできない新聞社系シンクタンクとしての特色を生かした情報誌を目指して一層努力いたします。

講演会の内容を充実させ、常設研究委員会（アジア研究委員会）を活性化させます。「毎日講演センター」の拡充に努力します。ご協賛企業の協力を得ながら、「第23回アジア・太平洋賞」を成功させます。

(1) 講演会・シンポジウム

本年度もタイムリーな講演会を開くため、内外の有名人を招いて、東京で6回開催する予定です。講演内容は「アジア時報」に掲載すると同時に毎日JPにアップします。シンポジウムも1回開催します。

(2) 調査・研究

◇アジア研究委員会

年5回の委員会、研究発表を計画しております。発表内容は「アジア時報」に掲載します。

(3) 出版

月刊情報誌「アジア時報」を年10回発行します。内容を充実し、アジア・太平洋に関する学術的な論文・研究発表、講演会全記録だけでなく、一般の法人会員の方々が興味深く読める中国の内情に関するコラムなどを随時掲載。会員のためになる雑誌を目指します。

(4) 事業

本会の主要イベントである『アジア・太平洋賞』は今年度で23回を迎えます。継続に全力をあげます。また『毎日講演センター』の講師斡旋事業を積極的に展開します。